

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和八年五月度 入賞句一覧

投句数 八百五十句

星野 勝 選

特選

たけのこをぼくが見つけてほるじいじ

大垣市

古くら こうき(小三)

「たけのこ」が夏の季語ですね。おじいさんとたけのことりに出かけた作者。作者が出発前に役割分担を決めておじいちゃんに話す姿も想像できます。「ぼくが見つけて」と自信をもつて詠んでいる作者は、きつとこれまでもおじいちゃんやんとたけのことりを経験したベテランなのかもしれないですね。やさしいおじいちゃんやんと元気な作者のナイスコンビできつとたくさんの収穫があつたのでしょね。二人の関係が伝わる句になりました。

春たんけんなにがいるかなどきんどきん

大垣市

やすば ここな(小三)

作者は三年生。二年生の四月ごろ、生活科の授業で「春たんけん」に出かける時のことを思い出して詠んだ句でしょうか。「なにがいるかな」という言葉から、生き物を探しに行こうとマトペ(音やようすを表す言葉)からよく伝わってきます。気持ちを直接表すのではなく心ぞうの鼓動で伝えたところが成功につながりました。

おはなみでひつくりかえるおべんとう

大垣市

上田 葵愛(小四)

家族でお花見に出かけたのですね。きつとお母さんが前の日から準備して、家族のためのおべんとうを作ってくれたのでしよう。お花見の場所に到着して、さあみんなでおべんとうを食べようとふたを開けると、なんと中身があちこちに散らばって…。その瞬間の家族のあぜんとした顔、少し間をおいてこぼれる笑顔、そんな仲の良いご家族の姿が目には浮かびます。映像が浮かんでくるような楽しい句になりました。

秀逸

チヨコバナナ急いで運ぶ桜道

大垣市

中村 朱里(小五)

青葉ゆれ水をきりさくたらい舟

大垣市

萩野 一絆(中一)

かにさされかゆいしいたいかえりみち

大垣市

こがた えま(小三)

おいかけるとぶの早いよモンシロチョウ

大垣市

吉岡 琴葉(小三)

ゆびの上でんとう虫がのぼつてく

大垣市

くまがい みのり(小三)

ちようちよとぶはなのまわりでえんかいだ

大垣市

はやの こう(小二)

いちごがりあまずっぱいがつまってる

大垣市

杉本 莉菜(小六)

川の上桜の花がすべつてく

大垣市

山田 啓士朗(小六)

新学期つくえに広がる木のおい

大垣市

中島 香都(小六)

舟くだりアメンボあとをついてくる

大垣市

川瀬 彩楓(小五)

入選

西コートスマツシユ決めた春の空

大垣市

陸田 峻生(小五)

夜桜に心ひかれた名古屋城

大垣市

木村 心音(小五)

大垣でたらい舟乗る初夏の風

愛知県小牧市

河村 優羽(小六)

さくらもちぴんくとみどりおにあいだ

大垣市

いしづか ゆいり(小三)

てんとう虫てくてくあるくはつばの上

大垣市

かねだみのり(小三)

たんぼぼのわた毛をふうとふきとばす

大垣市

川本 きこ(小三)

さくらの木春にピンクのふくをきる

大垣市

すぎやま たつや(小三)

おやすみにかぞくみんなではなばたけ

大垣市

ふじつか はやて(小二)

かえりみちわたげをみつけふいてみた

大垣市

中村 るきと(小二)

ふきのとうたべてみたいながいかな

大垣市

こんどう さわ(小二)

おひなさまおだいりさまとわらってる

大垣市

高木 ゆめ(小四)

いけるかなみつつのおもちひとくちで

大垣市

はぎの さら(小四)

ウグイスのびせいがまちになりひびく

大垣市

早野 榮流(小四)

ひなまつりいやなカルピスのまされる

大垣市

郭本 鈴葉(小四)

ドア開けてすぐに感じる春の風

大垣市

いとう みなと(小六)

耳すまし目をとじかんじる初夏の風

大垣市

松井 翔平(小五)

初夏の水うろこがひかるおどるこい

大垣市

林 実央(小五)

舟下りぐらぐらゆれて夏の川

大垣市

國友 健心(小五)

夏の鯉水門川で鬼ごっこ

大垣市

中村 陸玖(小五)

舟下り水面にうつる初夏の空

大垣市

市川 珠理(小五)

選者吟

炭酸の泡の垂直夏の天

まさる

小中学生の部

